



※ 今号はグローバル 10 海外派遣研修参加生徒の寄稿によるものです。

➡ 星陵祭にて「千羽鶴プロジェクト～鶴に想いを～」を開催します！

今月 7 日夜（日本時間 8 日午後）、メキシコ南部沖でマグニチュード 8.1 の大きな地震が発生、60 人を超える方が亡くなり、今も多くの方が震災前とは異なる日常を送っています。一方、太平洋の対岸にいる私たちはそのニュースを耳にして悲しみを抱きながらも何もすることができずに変わらない日常を送っています。では私たちは何もできないのでしょうか？何もしていないだけではないのでしょうか？

そこで、星陵祭にて「千羽鶴プロジェクト～鶴に想いを～」を開催します。星陵祭に御来場いただいた皆様に御協力をいただいて、千羽鶴を完成させようと思います。

もちろん、私たちが千羽鶴を折ることで被災した方々の生活の助けになるわけではありません。計画するメンバーの中から「自己満足に終わってしまうのではないか」という声も上がりました。しかし、想いを胸の中に大事にしまい込んでいては何も伝わりませんし、形にしてみることで気づけることもあると思います。皆様の愛ある御協力をよろしくお願いします。

■ グローバル委員会主催
「千羽鶴プロジェクト～鶴に想いを～」
場所：34R(裏面に地図あります)

● メキシコ大使館と本校の交流について

今まで世界で震災が起きた時にはこのような企画がなかったのに、なぜメキシコで地震が起きた時にはやるのか。そのような疑問を抱かれる方も多いと思いますのでここで説明します。

本校の隣にあるメキシコ大使館とはさまざまな交流を行っております。東京グローバル 10 海外派遣研修参加生徒は、これまで渡米前に米国アスペン研究所で行うプレゼンを見ていただき、御意見をいただいたり、帰国後にも大使にお招きいただいて、研修の報告を行ったりメキシコについてのお話を伺ったりしたことがありました。

このようにメキシコ大使館の御協力のもとに本校のさまざまな活動が成り立っているわけです。今回の千羽鶴プロジェクトを通して少しでも恩返しできればいいなと思います。

コラム

江戸時代の初めの 1609 年に、スペインのフィリピン総督ドン・ロドリゴの一行が上総の御宿海岸で難破しました。彼らは地元の漁師たちに助けられ、時の藩主にも歓待され、徳川家康が用意した帆船で無事帰国することができました。この時から日本と、(当時はスペイン領であった)メキシコとの交流が始まりました。1613 年に伊達政宗の命を受けた支倉常長はローマ教皇に謁見するべくローマに向かう際にメキシコを経由しました。その時一行はメキシコで大変厚いもてなしを受けました。1888 年に、日本とメキシコは日墨修好通商条約締結しました。このようにメキシコは昔から日本と交流が盛んでした。

本校の通用門に入って右手には、そのことについての石碑もたっているのです、ぜひ立ち寄ってみてください。

参照：Wikipedia

➡ ミチュホル外国語高等学校の生徒の訪問について

10月14日(土)から17日(火)にかけて本校の姉妹校である韓国のミチュホル外国語高等学校の生徒10名が来日します。14日に本校でホストファミリーと対面し、週末はホストファミリーと過ごしていただきます。16日(月)は1時間目に有志の生徒による歓迎レセプションに参加し、2時間目以降は最後まで授業を受け、放課後はSSH活動を見学したり部活動に参加したりします。17日は本校の周囲を散策し、昼頃に帰途につきます。

会場地図「千羽鶴プロジェクト～鶴に想いを～」場所:34R

